



営農ウィークリーNEWS

向島地域水稲刈取適期現地検討会

9月26日(火)に、向島支店水稲部による水稲刈取適期現地検討会が行われました。当日は、水稲部員のほか普及センター、JA職員ら 13人でほ場を巡回し、刈取適期の判定を行いました。どのほ場も生育は良好であり、刈取は前年と比較し5～7日程度早まっていました。



—TAC information—

酒造用原料米の適期刈取調査



9月29日、営農販売課では、久多地域で2023年産酒造用原料米「京の輝き」の刈取適期診断を行いました。

地域特性でもある冷涼な気候の地域でもあり、8月の登熟期も順調に生育したと推移され、外観品質も良好です。



産米検査結果速報

9月30日現在の検査結果速報をご案内します。

今年は、全国的に登熟期の高温により産米の品質低下が報告されております。

当JA管内でも早生品種を中心とした9月末までの産米検査では、乳白粒や背・腹白粒の混入が例年になく、多く見受けられております。

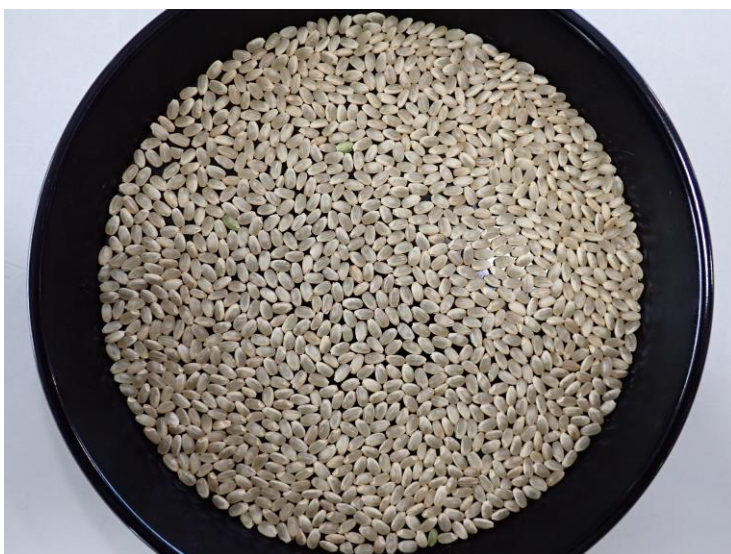
等級比率は、1等 13.4%、2等 0.4%、3等 86.2% となりました。

等級比率

1等	2等	3等	規格外
35 袋(8.5%)	1 袋(0.2%)	261 袋(62.7%)	119 袋(28.6%)



大原野支店前倉庫での米検査



高温被害による乳白粒が目立つ規格外